

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	医療安全管理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>医療の高度化・複雑化に伴い、多種の医療スタッフが連携し、それぞれの専門性を最大限に発揮する「チーム医療」を推進するために診療放射線技師の業務範囲を拡大する必要性が増加してきた。そのため、平成27年4月1日より診療放射線技師法が改正・施行され、医療現場において抜針等の業務が診療放射線技師の業務範囲に含まれることになった。本科目では、拡大された範囲の内容について演習も含めて学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>レポート課題(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>使用教材:スライドハンドアウトのプリントにより行います。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>配布資料を用いて事前学習(予習・復習)すること。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>グループで実習を行うが、誰かに任せず全員が主体的に取り組むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療放射線技師の業務範囲について理解する。	配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	法律、倫理に関する知識			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療放射線技師の業務範囲について理解する。	配布資料	配布資料の復習	
		各コマにおける授業予定	法律、倫理に関する知識			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	診療放射線技師の業務範囲について理解する。	配布資料	配布資料の復習	
		各コマにおける授業予定	法律、倫理に関する知識			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影剤の副作用について説明できる。	配布資料	配布資料の復習	
		各コマにおける授業予定	造影剤の血管内投与に必要な知識(造影剤薬理、副作用及び投与禁忌、等)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影剤の副作用について説明できる。	配布資料	配布資料の復習	
		各コマにおける授業予定	造影剤の血管内投与に必要な知識(造影剤薬理、副作用及び投与禁忌、等)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影剤の副作用について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	造影剤の血管内投与に必要な知識(造影剤薬理、副作用及び投与禁忌、等)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査時の感染管理、医療安全対策について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の抜針及び止血に必要な知識(感染管理及び医療安全対策、等)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査時の感染管理、医療安全対策について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の抜針及び止血に必要な知識(感染管理及び医療安全対策、等)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査時の感染管理、医療安全対策について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の抜針及び止血に必要な知識(感染管理及び医療安全対策、等)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査で用いる静脈路の穿刺針に対する抜針を行うことができる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の抜針及び止血に必要な技能(シミュレーションによる抜針・止血演習)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査で用いる静脈路の穿刺針に対する抜針を行うことができる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の抜針及び止血に必要な技能(シミュレーションによる抜針・止血演習)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	造影検査で用いる静脈路の穿刺針に対する抜針を行うことができる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	静脈路の抜針及び止血に必要な技能(シミュレーションによる抜針・止血演習)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	薬物に対する副作用発生時の対応について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	アナフィラキシー等を含めた副作用発生時の対処法		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	薬物に対する副作用発生時の対応について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	アナフィラキシー等を含めた副作用発生時の対処法		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	薬物に対する副作用発生時の対応について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	アナフィラキシー等を含めた副作用発生時の対処法		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	医療安全管理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	エックス線実習室
担当教員	星野 貴志	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>医療の高度化・複雑化に伴い、多種の医療スタッフが連携し、それぞれの専門性を最大限に発揮する「チーム医療」を推進するために診療放射線技師の業務範囲を拡大する必要性が増加してきた。そのため、平成27年4月1日より診療放射線技師法が改正・施行され、医療現場において抜針等の業務が診療放射線技師の業務範囲に含まれることになった。本科目では、拡大された範囲の内容について演習も含めて学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>レポート課題(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>使用教材:スライドハンドアウトのプリントにより行います。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>配布資料を用いて事前学習(予習・復習)すること。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>グループで実習を行うが、誰かに任せず全員が主体的に取り組むこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置を実践できる。	配布資料		配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS)演習			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置を実践できる。	配布資料		配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS)演習			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置を実践できる。	配布資料		配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	一次救命処置(BLS)演習			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査時に必要な接遇、感染管理及び医療安全対策について説明できる。	配布資料		配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査業務に必要な知識(接遇、感染管理及び医療安全対策、等)			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査時に必要な接遇、感染管理及び医療安全対策について説明できる。	配布資料		配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査業務に必要な知識(接遇、感染管理及び医療安全対策、等)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査時に必要な接遇、感染管理及び医療安全対策について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査業務に必要な知識(接遇、感染管理及び医療安全対策、等)		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査時に使用する校門カテーテルの挿入を実践できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査業務に必要な技能(肛門カテーテル挿入演習)		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査時に使用する校門カテーテルの挿入を実践できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査業務に必要な技能(肛門カテーテル挿入演習)		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	下部消化管検査時に使用する校門カテーテルの挿入を実践できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	下部消化管検査業務に必要な技能(肛門カテーテル挿入演習)		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な知識について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な知識(接遇、骨盤内臓器がんに対するIGRT、感染管理及び医療安全対策)		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な知識について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な知識(接遇、骨盤内臓器がんに対するIGRT、感染管理及び医療安全対策)		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な知識について説明できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な知識(接遇、骨盤内臓器がんに対するIGRT、感染管理及び医療安全対策)		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像誘導放射線治療時に用いる肛門カテーテルの挿入を実践できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な技能(肛門カテーテル挿入演習)		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像誘導放射線治療時に用いる肛門カテーテルの挿入を実践できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な技能(肛門カテーテル挿入演習)		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	画像誘導放射線治療時に用いる肛門カテーテルの挿入を実践できる。	配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	画像誘導放射線治療(IGRT)業務に必要な技能(肛門カテーテル挿入演習)		